

I-O DATA

SCSI対応USB 2.0&USB 1.1コンバータ

USB2-SC

取扱説明書

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

98703-01

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
- 3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
- 4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
- 5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関する設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
- 7) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 8) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
- 9) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
- 10) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
- 11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
- 12) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 13) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- i-CONNECTおよびi-CONNECTのロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft, Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Intel, Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。

ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意表示



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。



例) 「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。

記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。



例) 「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。



例) 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

警告



厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。



分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。

修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。



発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。



厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。



禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。



禁止

濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

注意



本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。



禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温湿度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波の発生する物の近く
（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所、浴室など）
- 傾いた場所
- 腐食性ガス雰囲気中（ Cl_2 、 H_2S 、 NH_3 、 SO_2 、 NO_x など）
- 静電気の影響の強い場所
- 保温性・保湿性の高い（ジュータン・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発砲スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）



禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない



厳守

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- 洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。



禁止

本製品内部で結露させたまま使わないでください。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。



禁止

本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。



厳守

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

使用上のご注意

●**本製品に接続したドライブにアクセス中は、省電力モードにしないでください。**

本製品にアクセス中は、スタンバイ/休止/スリープなどの省電力モードにしないでください。

●**他のUSB機器を使う場合は、下記にご注意ください。**

- ・本製品の転送速度が遅くなる場合があります。
- ・本製品をUSBハブに接続しても使えない場合があります。

その場合は、パソコンのUSBポートに接続してください。

●**本製品に接続したドライブからOSは起動できません。**

本製品に接続したドライブからのOS起動はサポートされておりません。

●**本製品は、動作中高温になりますが、動作上の問題はありません。**

仕様上、動作中は本製品が高温になりますが、動作上の問題はありません。

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意味
本製品	USB2-SC
ドライブ	SCSI搭載ドライブ
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating Systemおよび Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows Me/98	Windows Me, Windows 98の総称
Windows	Windows XP, Windows 2000, Windows Me/98の総称

マークの説明



注意

本製品を使う上で、注意すべきことが書かれています。



参考

本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

もくじ

安全上のご注意	i
お読みになる前に	vi
もくじ	vii

はじめに 1

特徴	2
箱の中の確認	3
動作環境	4
各部の名前	5
本製品とSCSI機器を接続する	6
お使いのOSは?	7

Windows XP でお使いの場合 9

インストール	10
確認しよう	14
基本操作について	17

Windows 2000 でお使いの場合 21

インストール	22
確認しよう	29
基本操作について	31

Windows Me でお使いの場合 **35**

インストール 36
確認しよう 39
基本操作について 41

Windows 98 でお使いの場合 **45**

インストール 46
確認しよう 52
基本操作について 54

フォーマットしよう **57**

Windows XPの場合 58
Windows 2000の場合 67
Windows Me/98の場合 80

ふろく **87**

困った時には 88
サポートソフトの削除 97
用語解説 98
仕様 99

サポートセンターへのお問い合わせ 100
サポートソフトのバージョンアップ 101
保証について 102
修理について 103

はじめに

特徴

..... 2



本製品の特徴について説明します。

箱の中の確認

..... 3



箱の中のものを確認します。

動作環境

..... 4



本製品を使うことができるパソコン環境と、本製品に接続できるSCSI機器について説明します。

各部の名前

..... 5



本製品の各部の名称を確認します。

本製品とSCSI機器を接続する

..... 6



本製品とSCSI機器を接続します。パソコンにはまだ接続しません。

お使いのOSは？

..... 7

お使いのOSに合ったページを案内しています。

特徴

- **世界最小！ 極小コンパクトボディ**

SCSI デバイスに接続しても場所を必要としません。

- **SCSI デバイスを最大4台まで接続可能**

箱の中の確認

箱の中には以下のものが入っています。

にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。



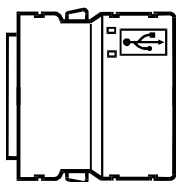
箱・梱包材は

大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

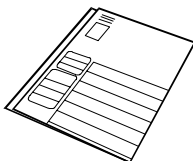
- USBコンバータ**
[USB2-SC]



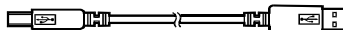
- USB2-SCサポートソフト (1枚)**
[Windows用CD-ROM]



- ユーザー登録カード**



- USBケーブル**
[USB Bコネクタ⇔USB Aコネクタ]



- ハードウェア保証書**



- ハードウェアシリアルNo. シール**



- USB2-SC取扱説明書 (本書)**



ユーザー登録は済ませましたか？

「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応OS

次の条件を満たすこと

- ・本製品を接続できるUSBポートを搭載した機種。（弊社製USB2-PCI、CBUSB2、USB-PCIを装着した機種含む。）
- ※USB 2.0環境での動作は、弊社製USB 2.0インターフェイスにおいて確認を行っております。動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合わせください。
- ※USB 1.1ポートを搭載した機種や弊社製USBインターフェイスボード「USB-PCI」を装着した機種では、USB 1.1機器として動作します。

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
NEC PC98-NXシリーズ、DOS/Vマシン※1	Windows XP※3 Windows Me※2 ・Windows 2000※2 ・Windows 98 (SEを含む)※2

- ※1 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。
- ※2 弊社製USB 2.0インターフェイス製品をお使いの場合には、「USB 2.0インターフェイスサポートソフト」Ver2.00以降をお使いください。
USB 2.0で使用する場合、別途インターフェイス付属のドライバが必要です。
- ※3 USB 1.1のみ使用可能。USB 2.0はMicrosoft社からのWindows Updateにより対応予定です。動作が不安定な場合は、「USB 2.0インターフェイスサポートソフト」Ver2.00以降をお試しく下さい。



- ・SCSIケーブルは総延長1.5m以内になるようにしてください。
- ・68ピン⇄50ピン変換アダプタとの併用はできません。
- ・Macintoshには対応していません。

対応SCSI機器

弊社製品：ハードディスク、MOドライブ、DVD-ROMドライブ、CD-RWドライブ※
対応コネクタ：D-Sub ハーフピッチ 50ピン

- ※ BURN-Proof、Just Link 等のエラー防止機能搭載 CD-RW ドライブのみ対応。
（DVD-ROM リード対応モデルを含む）ただし、B's Recorder GOLD は Windows 2000 環境ではご使用いただけません。



- SCSI 製品に添付のユーティリティ等で、一部ご使用いただけないものがあります。
例) HDXGシリーズ、HDVS-UMシリーズのスーパーマルチドライブ設定ユーティリティ等はご使用いただけません。

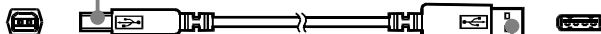
各部の名前

各部の名称および機能の確認をします。

● USBケーブル

Bプラグ

USBコンバータのUSBコネクタに接続します。



Aプラグ

パソコンのUSBコネクタに接続します。

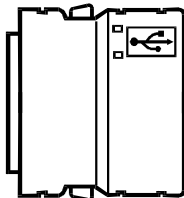
● USBコンバータ

SCSIコネクタ

SCSI機器に接続します。

USBコネクタ

USBケーブルのBプラグを接続します。



LED

ターミネータパワーを検出すると点灯します。

本製品とSCSI機器を接続する



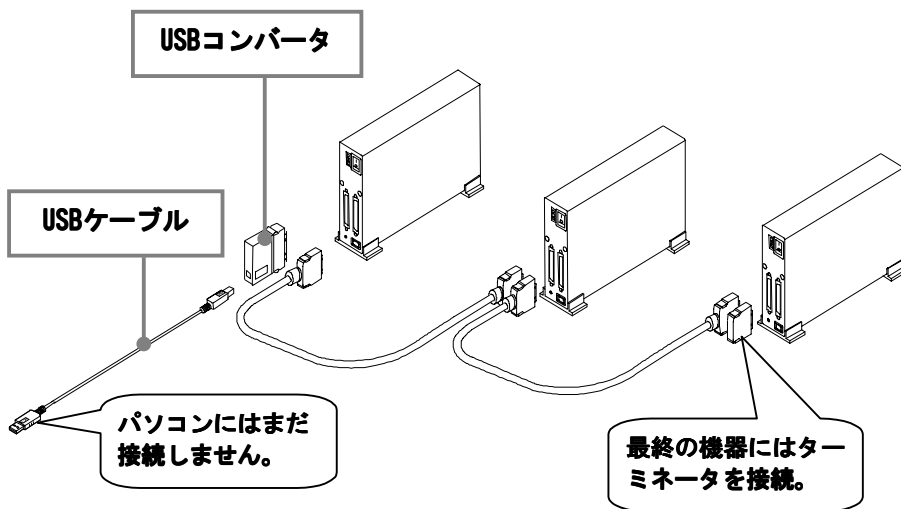
まだパソコンには接続しないでください。

パソコンとの接続は、インストール作業の中で行います。ここではUSB2-SCとSCSI機器の接続のみを行います。

- 1 USBコンバータのUSBコネクタにUSBケーブルのBプラグを接続します。
- 2 USBコンバータのSCSIコネクタをSCSI機器に接続します。
- 3 他のSCSI機器をディジーチェーン接続する場合は、ここですべて接続します。

※ ディジーチェーンできるのは、4台までです。

※ 最終のSCSI機器には必ずターミネータを接続してください。



次ページ【お使いのOSは?】を参照し、該当するページへ進みます。

お使いのOSは？

ここでは、お使いのOSに合ったページを案内しています。
下の表をご覧ください、それぞれのページへお進みください。

USB2-PCIと併用する場合！

Windows XP以外のOSで、USB2-PCIと併用する場合は、
あらかじめUSB2-PCIサポートソフトVer2.00以降をインストールしてください。

アンインストール、およびインストールの方法については、
「USB2-PCI取扱説明書」をご覧ください。

お使いのOS	章
Windows XP	【Windows XPでお使いの場合】 9ページ
Windows 2000	【Windows 2000でお使いの場合】 21ページ
Windows Me	【Windows Meでお使いの場合】 35ページ
Windows 98	【Windows 98でお使いの場合】 45ページ

Memo

Windows XPでお使いの場合

インストール

..... 10



添付のドライバをパソコンにインストールします。

確認しよう

..... 14



本製品が使えることを確認します。

基本操作について

..... 17

本製品を使う上での操作について説明します。

インストール

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。



接続するドライブが使われていることが前提です

本書は、現在使われているドライブのケーブルを本製品に交換するように書かれています。

まずは、ドライブを使えるようにしてください。

ドライブを使えるようにする方法については、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

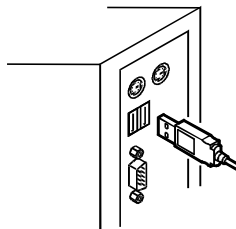
また、ドライブ等に関する最新対応情報については、弊社ホームページをご覧ください。

1 **コンピュータの管理者アカウントでログオンします。**
パソコンの電源を入れて、Windows XPにコンピュータの管理者アカウントでログオンします。

2 **本製品とSCSI機器を接続し、SCSI機器の電源を入れます。**

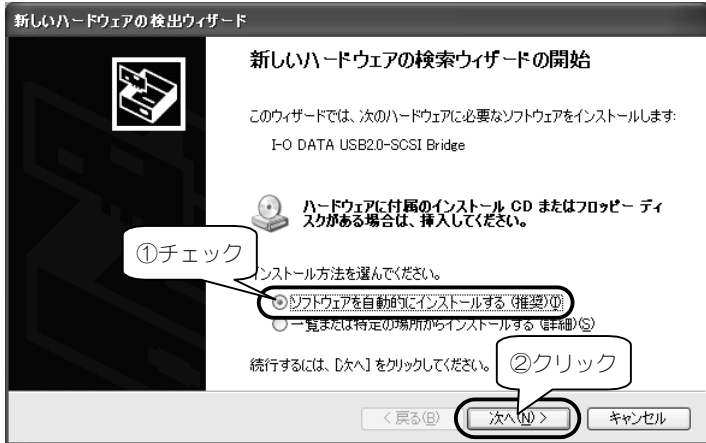
【本製品とSCSI機器を接続する】（6ページ）参照

3 **USBケーブルのAプラグをパソコンのUSBコネクタに接続します。**



4 **「USB2-SCサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。**

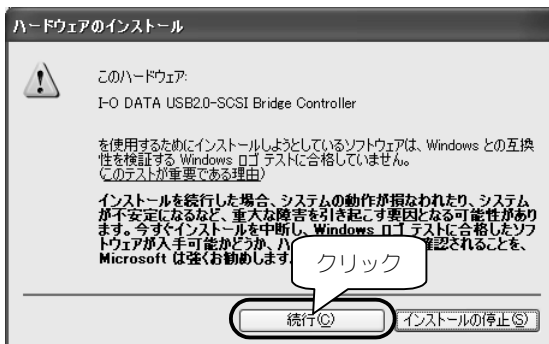
5 [ソフトウェアを自動的に…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



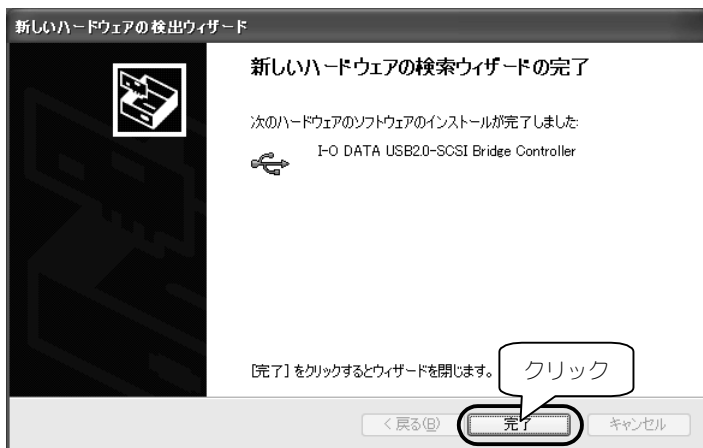
手順5の画面がでない

91ページ「インストール時に「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない」をご参照ください。

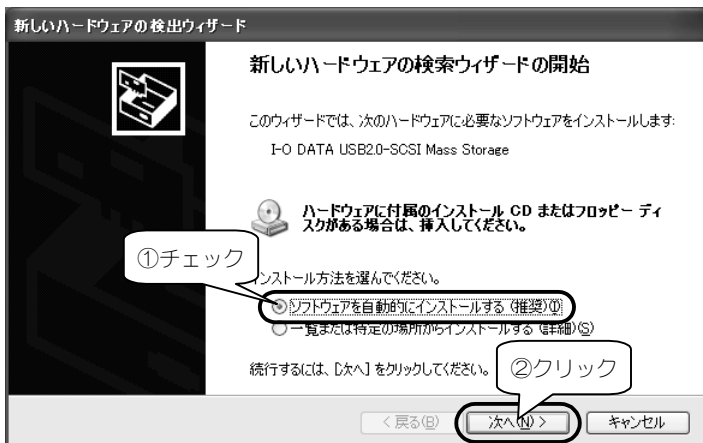
6 [続行]ボタンをクリックします。



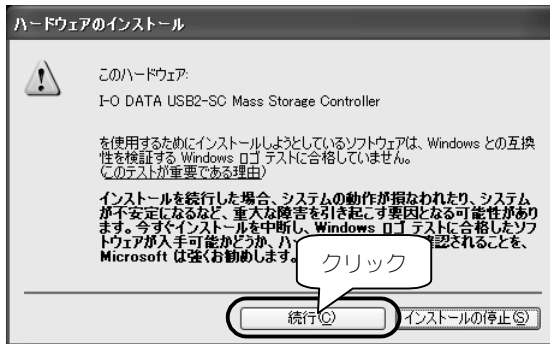
7 [完了]ボタンをクリックします。



8 [ソフトウェアを自動的に...]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



9 [続行]ボタンをクリックします。



10 [完了]ボタンをクリックします。



以上でインストールは完了です。
次ページでインストールが正常に終了したかどうか確認してください。

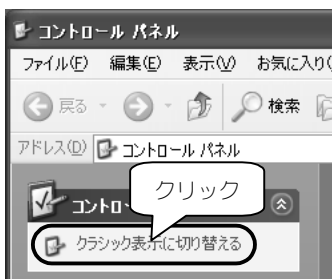
確認しよう

本製品が使えることを確認します。

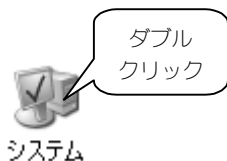
- 1** [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。



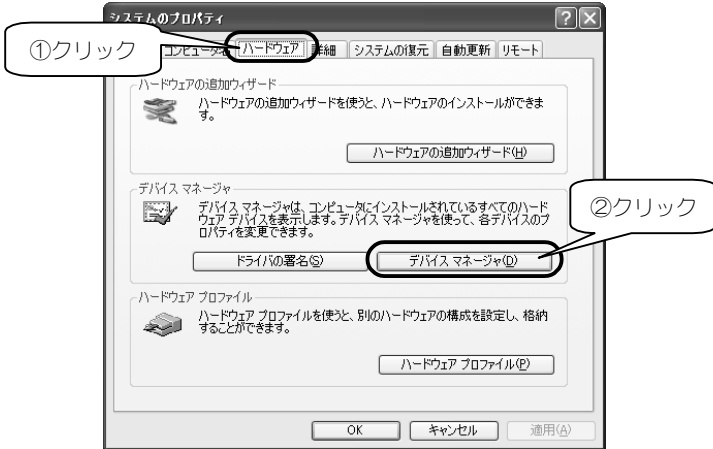
- 2** [クラシック表示に切り替える]をクリックします。



- 3** [システム]アイコンをダブルクリックします。

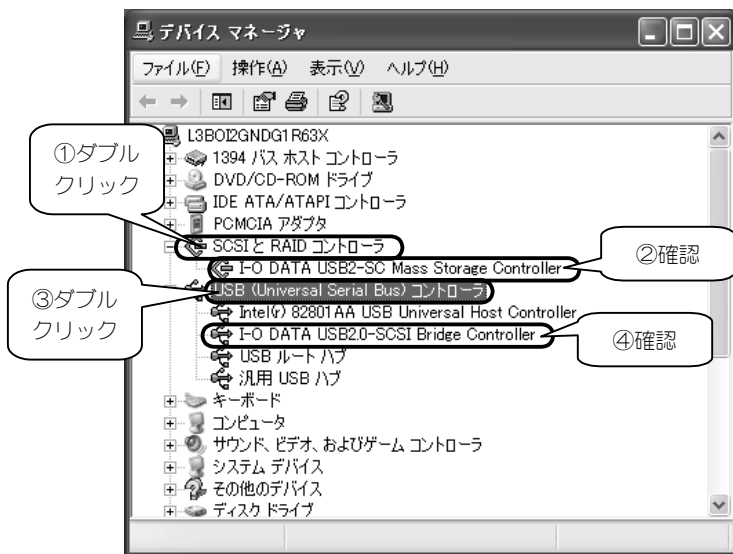


4 [ハードウェア]タブをクリック→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



5 [SCSIとRAIDコントローラ]、[USB (Universal Serial Bus)コントローラ]をダブルクリックし、以下の表示があることを確認します。

- ・[SCSIとRAIDコントローラ]下
 [I-O DATA USB2-SC Mass Storage Controller]
- ・[USB (Universal Serial Bus)コントローラ]下
 [I-O DATA USB2.0-SCSI Bridge Controller]



正しく表示されていれば正常です。本製品をご使用いただけます。



表示に [!] が付いている

各表示に[!]がついている場合は、パソコンを再起動してください。それでも改善しない場合は、【サポートソフトの削除】(97ページ)を参照し、一旦削除後、再度【インストール】(10ページ)を行ってください。

表示がない

本製品がUSBポートにしっかりと接続されているか確認してください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
ドライブの電源を入れる	本ページ
ドライブの電源を切る	
本製品を接続する	19ページ
本製品を取り外す	

ドライブの電源を入れる

ドライブの電源は、パソコンに接続する前に入れてください。

ドライブの電源を切る

操作	
●パソコン→ドライブの順に電源を切る	本ページ
●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る	次ページ

●パソコン→ドライブの順に電源を切る

- 1 ディスクを取り出します。**
MOドライブ等の場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。
- 2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。**
- 3 ドライブの電源を切ります。**

●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る

1 ディスクを取り出します。

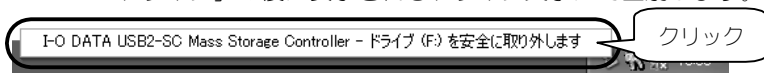
M0ドライブ等の場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、M0ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



3 表示された[I-O DATA USB2-SC...]をクリックします。

複数のUSB 2.0機器を接続している場合は、[I-O DATA USB2-SC...ドライブ]の後に表示されるドライブ文字にて区別します。



「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
使っているソフトウェアを全て終了し、再度上記手順を行います。

※同じメッセージが表示されたら、【●パソコン→ドライブの順に電源を切る】(前ページ)の手順を行ってください。

4 [ハードウェアの取り外し]が表示されたことを確認します。



5 ドライブの電源を切ります。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っても、本製品を接続できます。

- 1** ドライブの電源を入れます。
- 2** 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

- 1** ドライブの電源を切ります。
操作は、【ドライブの電源を切る】(17ページ)をご覧ください。
- 2** 本製品をUSBポートから取り外します。

Memo

Windows 2000でお使いの場合

インストール

..... 22

添付のドライバをパソコンにインストールします。



確認しよう

..... 29

本製品が使えることを確認します。



基本操作について

..... 31

本製品を使う上での操作について説明します。

インストール

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。



接続するドライブが使われていることが前提です

本書は、現在使われているドライブのケーブルを本製品に交換するように書かれています。

まずは、ドライブを使えるようにしてください。

ドライブを使えるようにする方法については、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

また、ドライブ等に関する最新対応情報については、弊社ホームページをご覧ください。

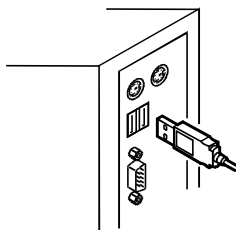
1 Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

パソコンの電源を入れて、Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

2 本製品とSCSI機器を接続し、SCSI機器の電源を入れます。

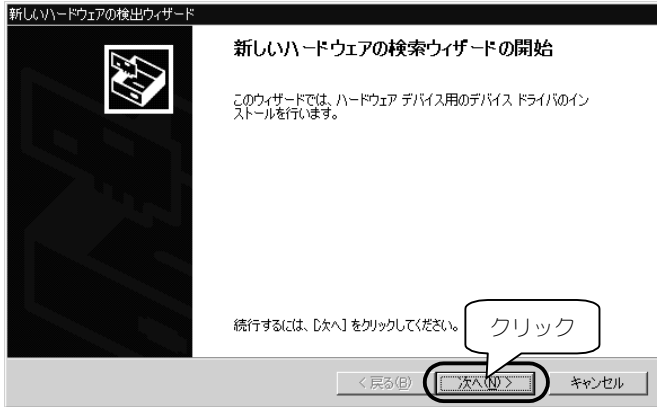
【本製品とSCSI機器を接続する】（6ページ）参照

3 USBケーブルのAプラグをパソコンのUSBコネクタに接続します。



4 「USB2-SCサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

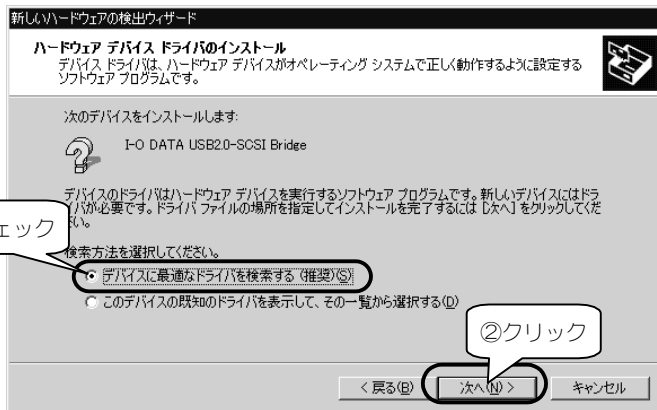
5 [次へ]ボタンをクリックします。



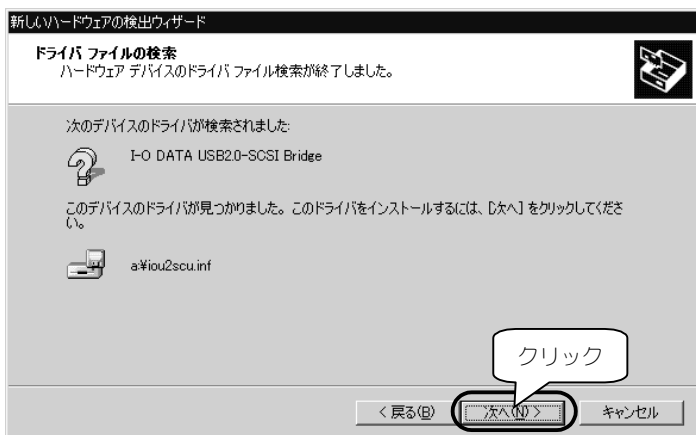
手順5の画面がでない

92ページ「インストール時に「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない」をご参照ください。

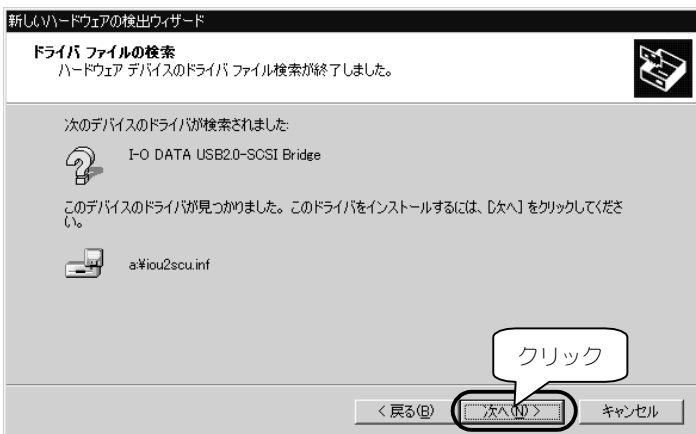
6 [デバイスに適切な…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



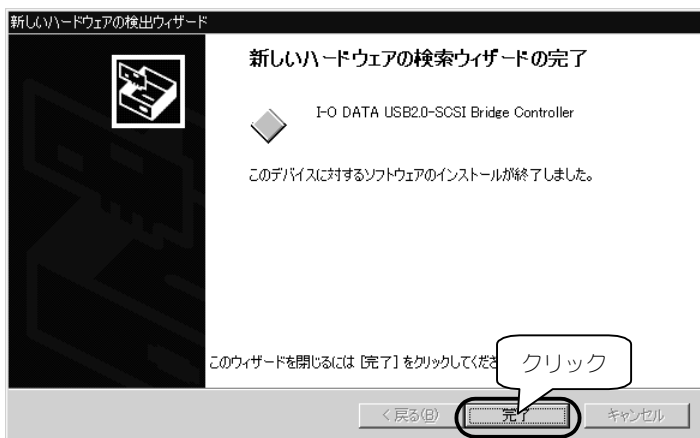
7 [次へ]ボタンをクリックします。



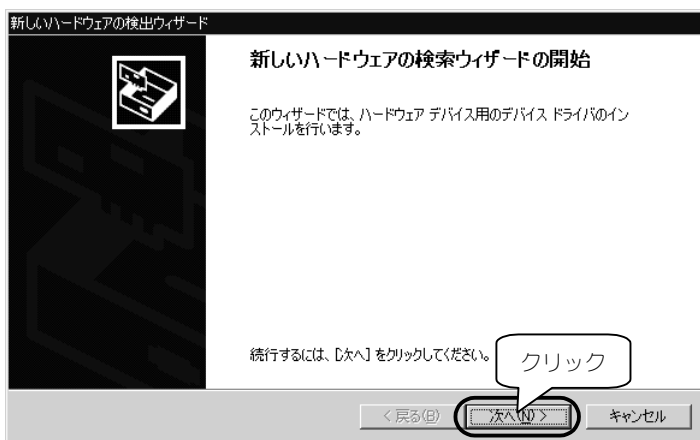
8 [次へ]ボタンをクリックします。



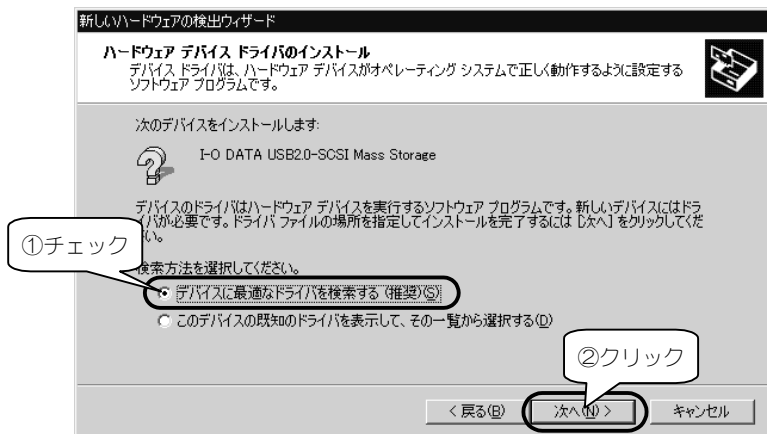
9 [完了]ボタンをクリックします。



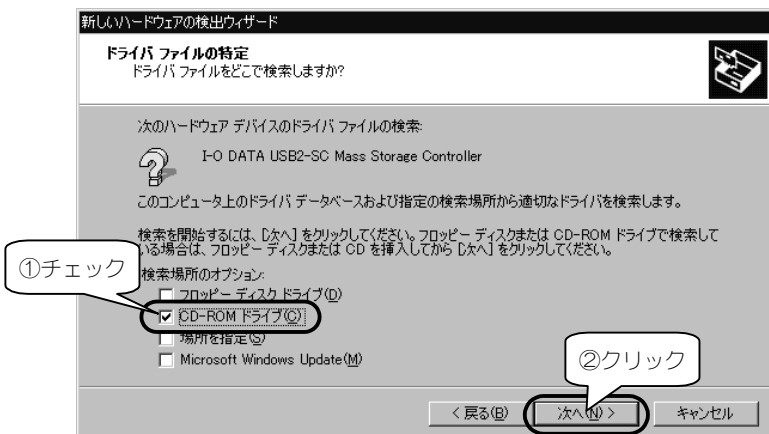
10 [次へ]ボタンをクリックします。



11 [デバイスに最適な…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



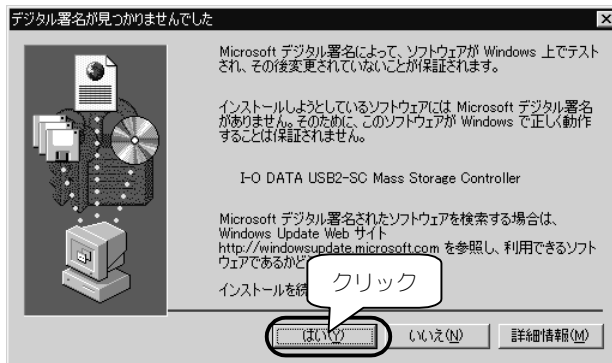
12 [CD-ROMドライブ]のみをチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



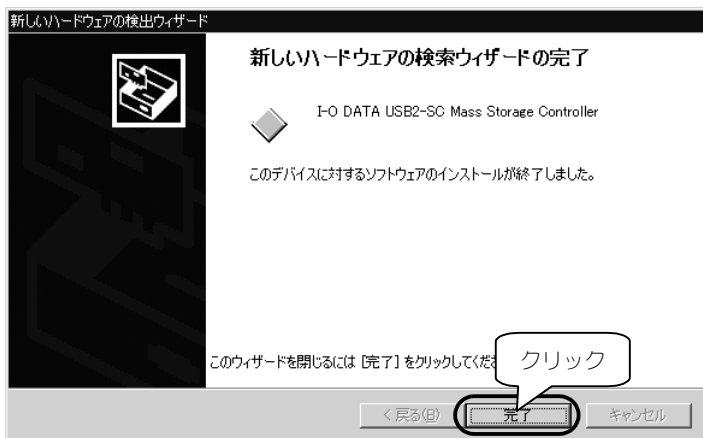
13 [次へ]ボタンをクリックします。



14 [はい]ボタンをクリックします。



15 [完了]ボタンをクリックします。



以上でインストールは完了です。
次ページでインストールが正常に終了したかどうか確認してください。

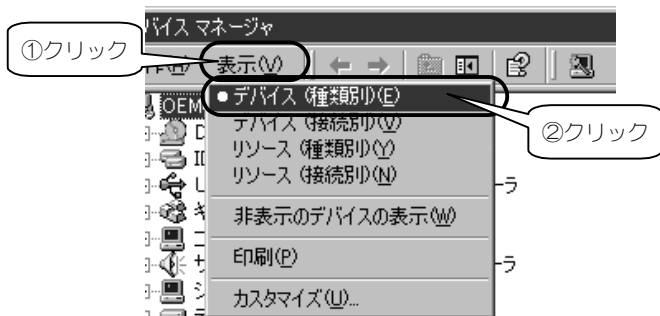
確認しよう

1 [マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリックします。

[システムのプロパティ] が起動します。

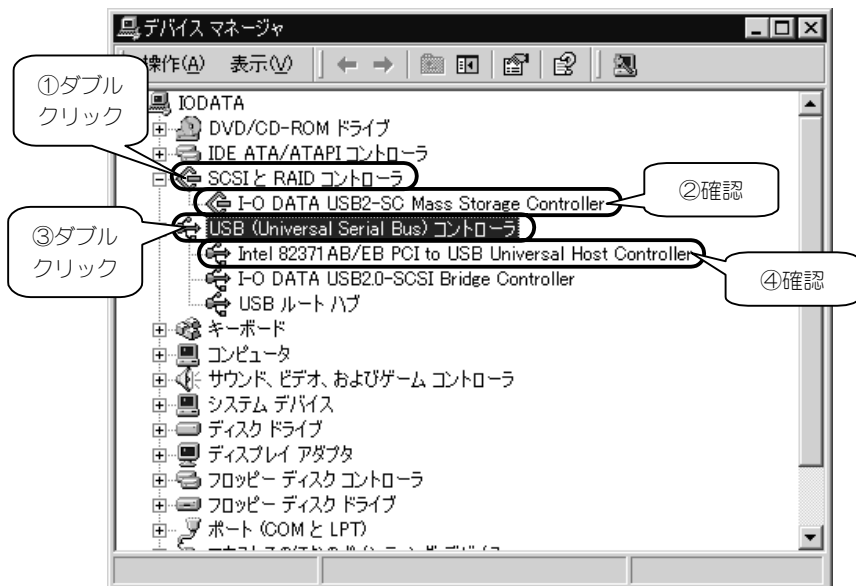
2 [ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

3 [表示]→[デバイス(種類別)]をクリックします。



4 [SCSIとRAIDコントローラ]、[USB (Universal Serial Bus)コントローラ]をダブルクリックし、以下の表示があることを確認します。

- ・[SCSIとRAIDコントローラ]下
 [I-O DATA USB2-SC Mass Storage Controller]
- ・[USB (Universal Serial Bus)コントローラ]下
 [I-O DATA USB2.0-SCSI Bridge Controller]



正しく表示されていれば正常です。本製品をご使用いただけます。



表示に [!] が付いている

各表示に [!] が付いている場合は、パソコンを再起動してください。それでも改善しない場合は、【サポートソフトの削除】(97ページ)を参照し、一旦削除後、再度【インストール】(22ページ)を行ってください。

表示がない

本製品がUSBポートにしっかりと接続されているか確認してください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
ドライブの電源を入れる	本ページ
ドライブの電源を切る	
本製品を接続する	33ページ
本製品を取り外す	

ドライブの電源を入れる

ドライブの電源は、パソコンに接続する前に入れてください。

ドライブの電源を切る

操作	
●パソコン→ドライブの順に電源を切る	本ページ
●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る	次ページ

●パソコン→ドライブの順に電源を切る

- 1 ディスクを取り出します。**
MOドライブ等の場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。
- 2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。**
- 3 ドライブの電源を切ります。**

●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る

1 ディスクを取り出します。

M0ドライブ等の場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

クリック



3 表示された[I-O DATA USB2-SC...]をクリックします。

複数のUSB 2.0機器を接続している場合は、[I-O DATA USB2-SC...ドライブ]の後に表示されるドライブ文字にて区別します。

I-O DATA USB2-SC Mass Storage Controller - ドライブ (F:) を停止します

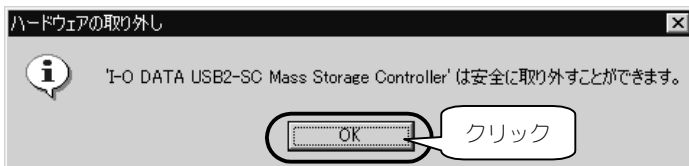
クリック



「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
使っているソフトウェアを全て終了し、再度上記手順を行います。

※同じメッセージが表示されたら、【●パソコン→ドライブの順に電源を切る】(前ページ)の手順を行ってください。

4 [ハードウェアの取り外し]が表示されたら[OK]ボタンをクリックします。



5 ドライブの電源を切ります。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っても、本製品を接続できます。

- 1 ドライブの電源を入れます。
- 2 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

- 1 ドライブの電源を切ります。
操作は、【ドライブの電源を切る】(31ページ)をご覧ください。
- 2 本製品をUSBポートから取り外します。



ユーザー権限でご使用時に、次の画面が表示される場合があります。



この画面が表示された場合は、Administrator権限でログオンし、全てのUSBポートに対し、順番に本製品を接続してください。
このように、本製品を接続したUSBポートはユーザー権限でもご使用いただけるようになります。

Memo

Windows Meでお使いの場合

インストール

..... 36



添付のドライバをパソコンにインストールします。

確認しよう

..... 39



本製品が使えることを確認します。

基本操作について

..... 41

本製品を使う上での操作について説明します。

インストール

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。



接続するドライブが使われていることが前提です

本書は、現在使われているドライブのケーブルを本製品に交換するように書かれています。

まずは、ドライブを使えるようにしてください。

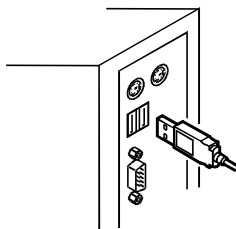
ドライブを使えるようにする方法については、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

また、ドライブ等に関する最新対応情報については、弊社ホームページをご覧ください。

- 1 Windowsを起動します。
- 2 本製品とSCSI機器を接続し、SCSI機器の電源を入れます。

【本製品とSCSI機器を接続する】（6ページ）参照

- 3 USBケーブルのAプラグをパソコンのUSBコネクタに接続します。



- 4 「USB2-SCサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

5 [適切な…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



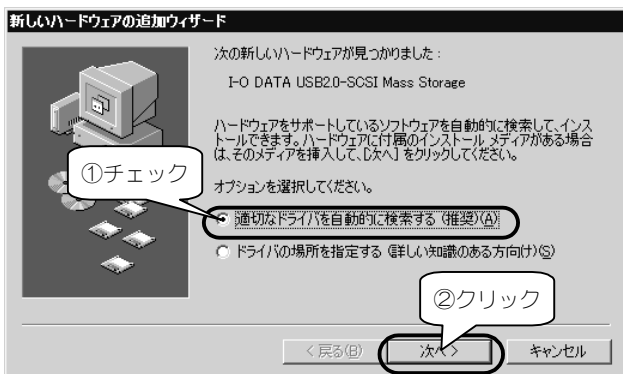
手順5の画面がでない

95ページ「インストール時に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない」をご参照ください。

6 [完了]ボタンをクリックします。



7 [適切な…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



8 [完了]ボタンをクリックします。



以上でインストールは完了です。
次ページでインストールが正常に終了したかどうか確認してください。

確認しよう

- 1 [マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリックします。

[システムのプロパティ] が起動します。

- 2 [デバイスマネージャ]タブをクリック→[種類別に表示]をチェックします。



確認しよう

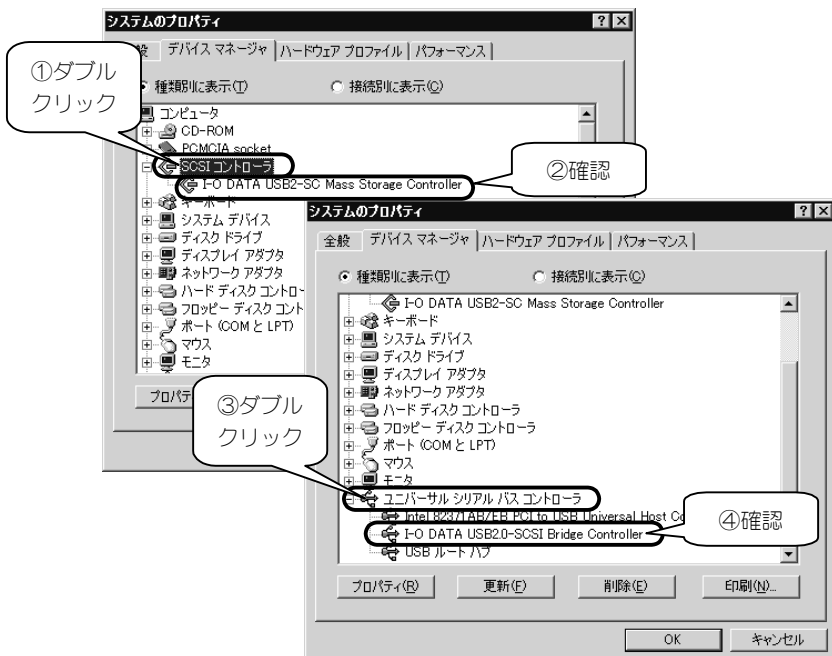
3 [SCSIコントローラ]、[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]をダブルクリックし、以下の表示があることを確認します。

・[SCSIコントローラ]下

[I-O DATA USB2-SC Mass Storage Controller]

・[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]下

[I-O DATA USB2.0-SCSI Bridge Controller]



正しく表示されていれば正常です。本製品をご使用いただけます。



表示に [!] が付いている

各表示に [!] が付いている場合は、パソコンを再起動してください。それでも改善しない場合は、【サポートソフトの削除】(97ページ)を参照し、一旦削除後、再度【インストール】(36ページ)を行ってください。

表示がない

本製品がUSBポートにしっかりと接続されているか確認してください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
ドライブの電源を入れる	本ページ
ドライブの電源を切る	
本製品を接続する	43ページ
本製品を取り外す	

ドライブの電源を入れる

ドライブの電源は、パソコンに接続する前に入れてください。

ドライブの電源を切る

操作	
●パソコン→ドライブの順に電源を切る	本ページ
●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る	次ページ

●パソコン→ドライブの順に電源を切る

- 1 ディスクを取り出します。**
MOドライブ等の場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。
- 2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。**
- 3 ドライブの電源を切ります。**

●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る

1 ディスクを取り出します。

MOドライブ等の場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



3 表示された[I-O DATA USB2-SC...]をクリックします。

複数のUSB 2.0機器を接続している場合は、[I-O DATA USB2-SC...ドライブ]の後に表示されるドライブ文字にて区別します。

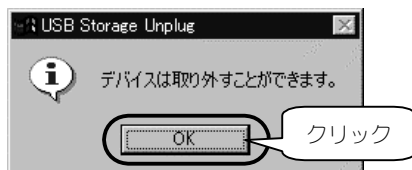


「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

使っているソフトウェアを全て終了し、再度上記手順を行います。

※同じメッセージが表示されたら、【●パソコン→ドライブの順に電源を切る】(前ページ)の手順を行ってください。

4 [USB Storage Unplug]が表示されたら[OK]ボタンをクリックします。



5 ドライブの電源を切ります。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っても、本製品を接続できます。

- 1 ドライブの電源を入れます。
- 2 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

- 1 ドライブの電源を切ります。
操作は、【ドライブの電源を切る】(41ページ)をご覧ください。
- 2 本製品をUSBポートから取り外します。



タスクトレイのアイコンについて

Windows Meでは、接続していたデバイスを全て取り外してもタスクトレイのアイコンは残ったままとなります。これは仕様となります。

Memo

Windows 98でお使いの場合

インストール

..... 46



添付のドライバをパソコンにインストールします。

確認しよう

..... 52



本製品が使えることを確認します。

基本操作について

..... 54

本製品を使う上での操作について説明します。

インストール

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。



接続するドライブが使われていることが前提です

本書は、現在使われているドライブのケーブルを本製品に交換するように書かれています。

まずは、ドライブを使えるようにしてください。

ドライブを使えるようにする方法については、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

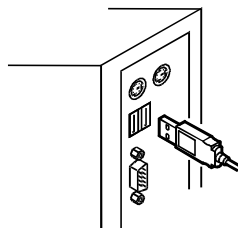
また、ドライブ等に関する最新対応情報については、弊社ホームページをご覧ください。

1 Windowsを起動します。

2 本製品とSCSI機器を接続し、SCSI機器の電源を入れます。

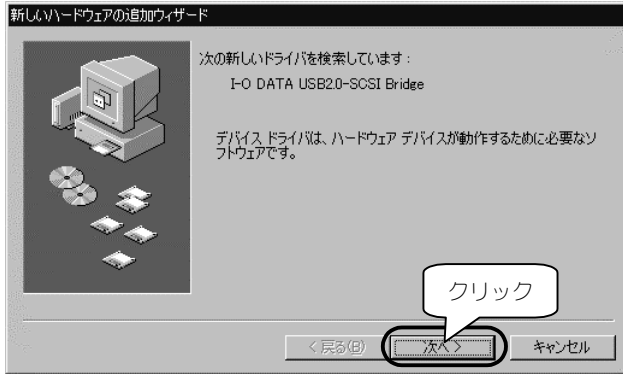
【本製品とSCSI機器を接続する】（6ページ）参照

3 USBケーブルのAプラグをパソコンのUSBコネクタに接続します。



4 「USB2-SCサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

5 [次へ]ボタンをクリックします。



手順5の画面がでない

95ページ「インストール時に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない」をご参照ください。

6 [CD-ROMドライブ]のみをチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



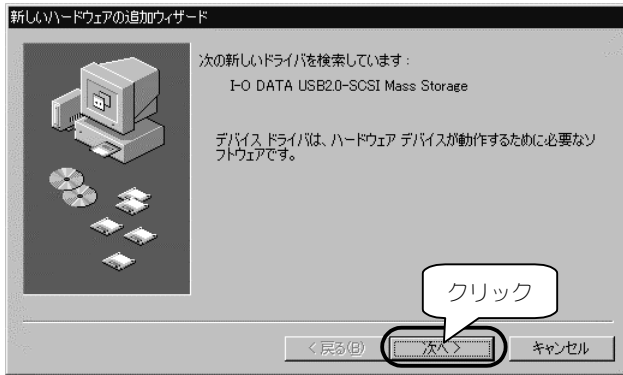
7 [次へ]ボタンをクリックします。



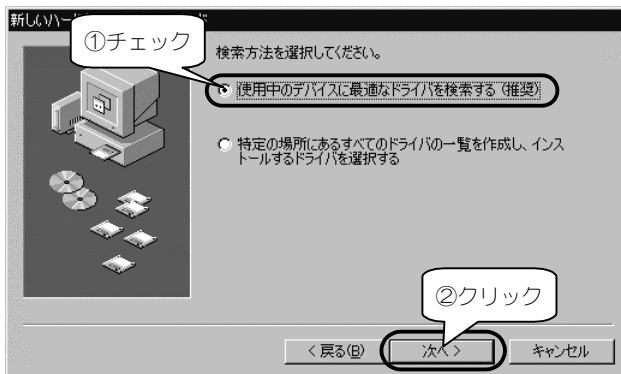
8 [完了]ボタンをクリックします。



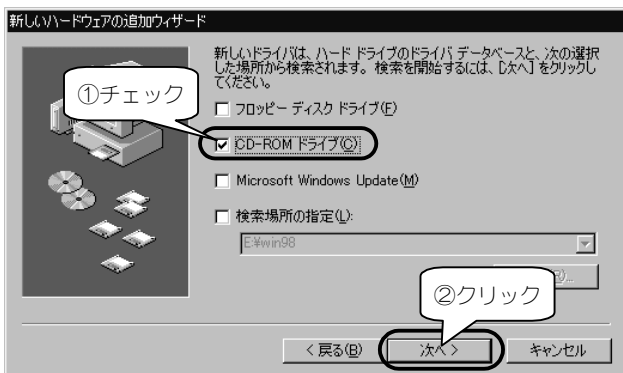
9 [次へ]ボタンをクリックします。



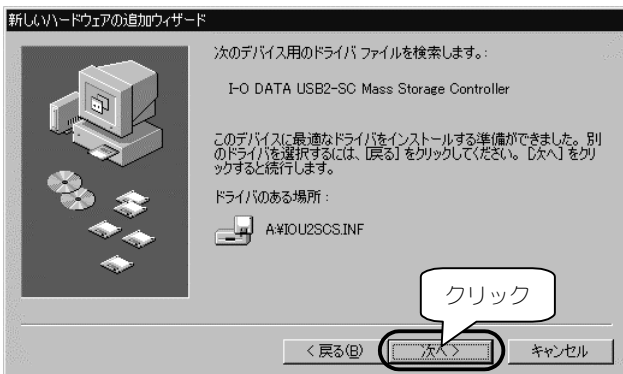
10 [使用中の…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



11 [CD-ROMドライブ]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



12 [次へ]ボタンをクリックします。



13 [完了]ボタンをクリックします。



以上でインストールは完了です。
次ページでインストールが正常に終了したかどうか確認してください。

確認しよう

- 1 [マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリックします。

[システムのプロパティ] が起動します。

- 2 [デバイスマネージャ]タブをクリック→[種類別に表示]をチェックします。



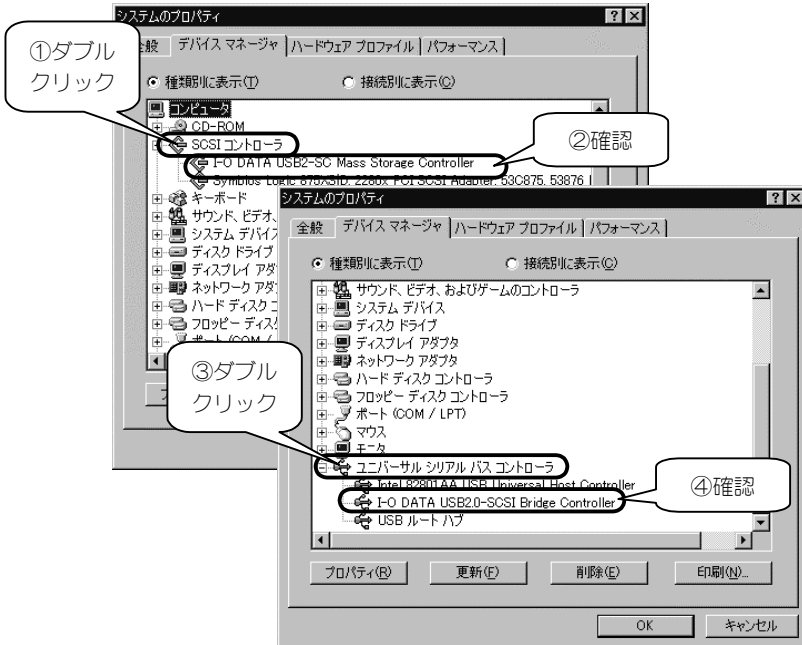
3 [SCSIコントローラ]、[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]をダブルクリックし、以下の表示があることを確認します。

・[SCSIコントローラ]下

[I-O DATA USB2-SC Mass Storage Controller]

・[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]下

[I-O DATA USB2.0-SCSI Bridge Controller]



正しく表示されていれば正常です。本製品をご使用いただけます。



表示に [!] が付いている

各表示に [!] が付いている場合は、パソコンを再起動してください。それでも改善しない場合は、【サポートソフトの削除】(97ページ)を参照し、一旦削除後、再度【インストール】(46ページ)を行ってください。

表示がない

本製品がUSBポートにしっかりと接続されているか確認してください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
ドライブの電源を入れる	本ページ
ドライブの電源を切る	
本製品を接続する	56ページ
本製品を取り外す	

ドライブの電源を入れる

ドライブの電源は、パソコンに接続する前に入れてください。

ドライブの電源を切る

操作	
●パソコン→ドライブの順に電源を切る	本ページ
●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る	次ページ

●パソコン→ドライブの順に電源を切る

- 1 ディスクを取り出します。**
MOドライブ等の場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。
- 2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。**
- 3 ドライブの電源を切ります。**

●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る

1 ディスクを取り出します。

M0ドライブ等の場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



3 表示された[I-O DATA USB2-SC...]をクリックします。

複数のUSB 2.0機器を接続している場合は、[I-O DATA USB2-SC...ドライブ]の後に表示されるドライブ文字にて区別します。



「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
使っているソフトウェアを全て終了し、再度上記手順を行います。

※同じメッセージが表示されたら、【●パソコン→ドライブの順に電源を切る】(前ページ)の手順を行ってください。

4 [USB Storage Unplug]が表示されたら[OK]ボタンをクリックします。



5 ドライブの電源を切ります。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っても、本製品を接続できます。

- 1** ドライブの電源を入れます。
- 2** 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

- 1** ドライブの電源を切ります。
操作は、【ドライブの電源を切る】(54ページ)をご覧ください。
- 2** 本製品をUSBポートから取り外します。

フォーマットしよう

Windows XPの場合

..... 58

Windows XPでのフォーマット方法です。

Windows 2000の場合

..... 67

Windows 2000でのフォーマット方法です。

Windows Me/98の場合

..... 80

Windows Me/98でのフォーマット方法です。



通常フォーマット作業は必要ありません

どうしても必要な場合のみ行ってください。

フォーマットすると、データはすべて消去されます

ハードディスクに必要なデータがある場合は、先に、別のハードディスクなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。



本手順を行う際は、以下にご注意ください

Windows XPの場合は、コンピュータの管理者アカウントでログオンしてください。

Windows 2000の場合はAdministrator権限でログオンしてください。

Windows XP/2000とWindows Me/98とで併用する場合は...

Windows Me/98で本製品のフォーマットを行ってください。

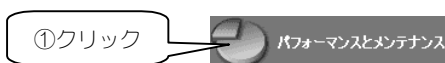
Windows XP/2000でフォーマットするとWindows Me/98で認識されない場合があります。

Windows XPの場合

本製品に接続されたハードディスクのフォーマットについて説明します。
通常この操作は必要ありません。どうしても必要になった場合のみ行ってください。

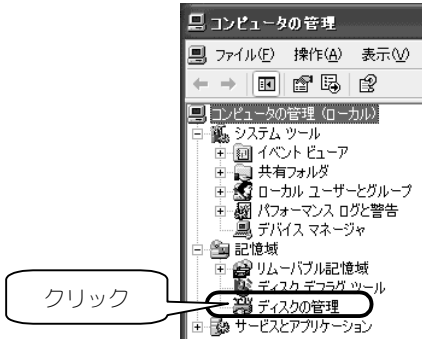
ディスクの初期化

- 1 コンピュータの管理者アカウントでログオンします。**
パソコンの電源を入れて、Windows XPにコンピュータの管理者アカウントでログオンします。
- 2 「コントロールパネル」を起動します。**
[スタート] → [コントロールパネル] の順にクリックします。
⇒ [コントロールパネル] が起動されます。
- 3 「コンピュータの管理」を起動します。**
 - ① [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックします。
 - ② [管理ツール] をクリックします。
 - ③ [コンピュータの管理] をダブルクリックします。
⇒ [コンピュータの管理] が起動されます。



4 [ディスクの管理]をクリックします。

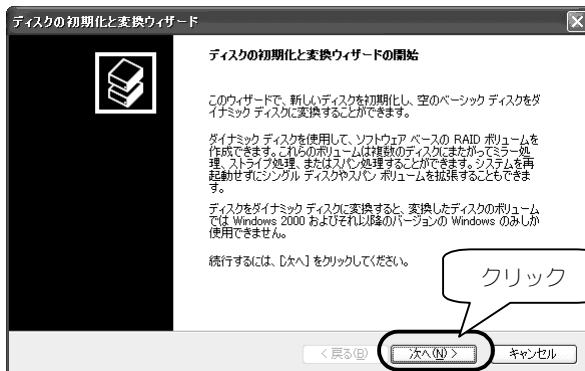
⇒「ディスクの初期化と変換ウィザード」が表示されます。



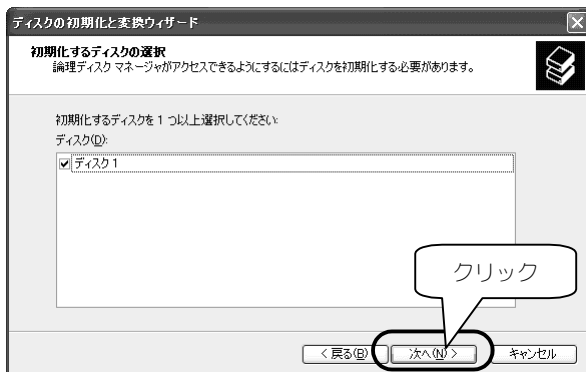
「ディスクの初期化と変換ウィザード」が表示されない

- ・ハードディスクが正しく接続されていません。
- ・表示されない設定になっています。
ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示された[署名]をクリックしてください。
- ・ハードディスクは初期化されています。
【パーティションの作成】(62ページ)へお進みください。

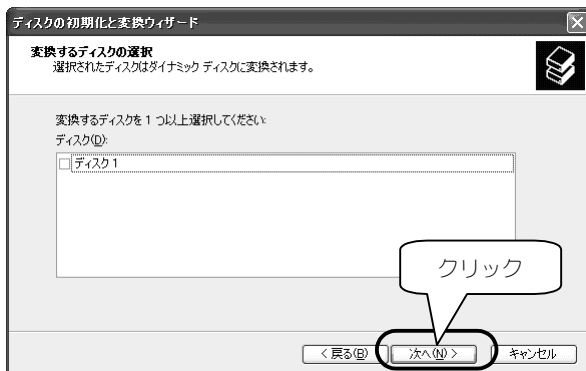
5 [次へ]ボタンをクリックします。



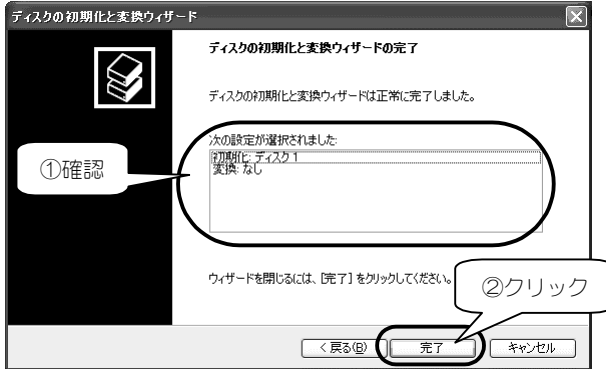
6 [次へ]ボタンをクリックします。



7 下の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。



- 8** 設定を確認して、[完了]ボタンをクリックします。
設定が正しいことを確認し、[完了]ボタンをクリックします。
⇒初期化が行われます。

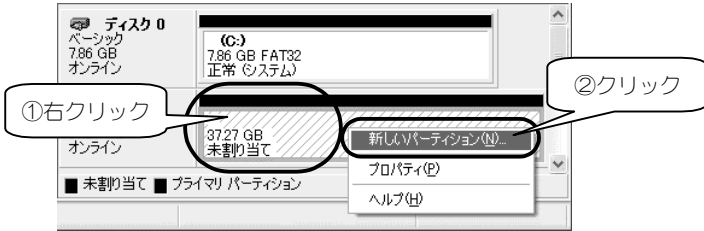


以上でディスクは初期化されました。
次は、パーティションを作成します。

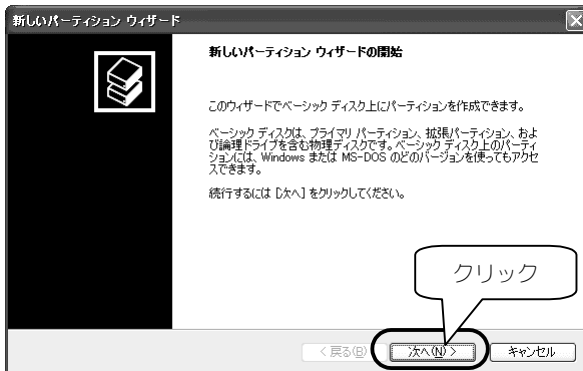
パーティションの作成

1 「新しいパーティションウィザード」を起動します。

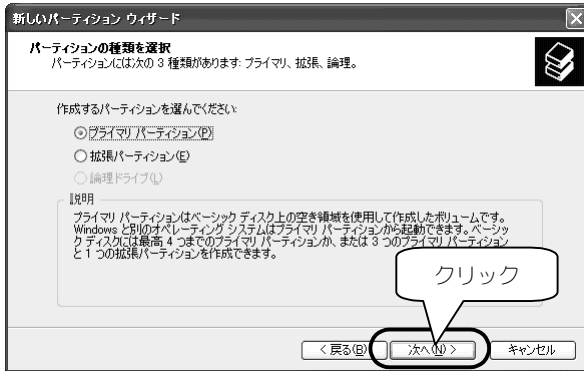
- ①フォーマットしたいハードディスクの未割り当ての領域を右クリックします。
- ②表示された [新しいパーティション] をクリックします。
⇒[新しいパーティションウィザード]が起動します。



2 [次へ]ボタンをクリックします。



3 [次へ]ボタンをクリックします。



参考

拡張パーティションについて

ここでは、[拡張パーティション] を選ぶこともできます。
ハードディスクを5つ以上に分割したい場合は、「拡張パーティション」を作成する必要があります。
詳細は、Windows XPの取扱説明書、オンラインヘルプをご覧ください。

4 [次へ]ボタンをクリックします。

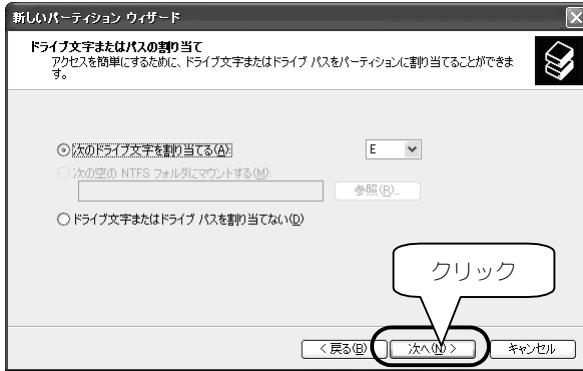




パーティションサイズについて

ここでは、最大値のままの設定にされています。
ハードディスクを分割したい場合は、[パーティションサイズ]を[最大ディスク領域]より小さくする必要があります。
詳細は、Windows XPの取扱説明書、オンラインヘルプをご覧ください。

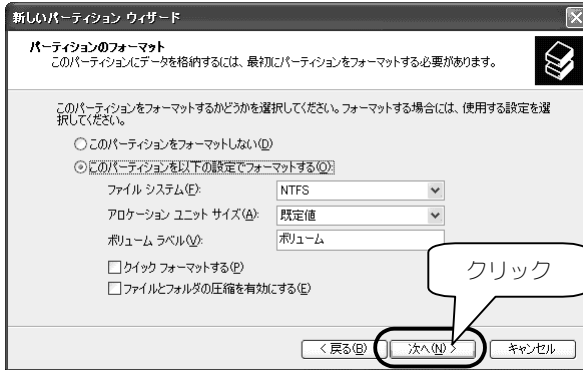
5 [次へ]ボタンをクリックします。



ドライブ文字について

ここで割り当てたドライブ文字が、作成するドライブのドライブ文字になります。

6 [次へ]ボタンをクリックします。





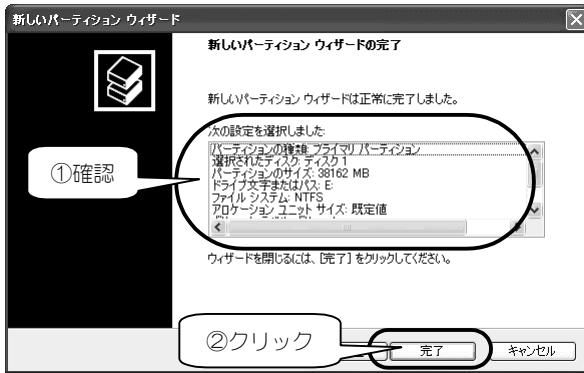
ファイルシステムについて

ハードディスクをWindows XPのみで使う場合は、[NTFS] のままにしてください。
他のOSでも使う場合は、使うOSにも対応したファイルシステムをお使いください。

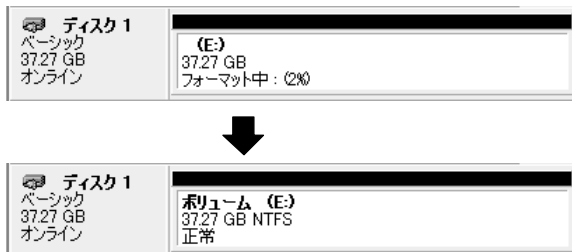
7 設定を確認して、[完了]ボタンをクリックします。

設定が正しいことを確認し、[完了] ボタンをクリックします。

⇒パーティションの作成とフォーマットが行われます。



フォーマットには、容量に応じた時間がかかります。
フォーマットが終わると、「マイコンピュータ」にハードディスクのアイコンが表示されます。



作成したパーティションの次回からのフォーマットについて

ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示された [フォーマット] をクリックします。

**以上でハードディスクはフォーマットされました。
フォーマット後は、再起動せずにそのまま使えます。**

Windows 2000の場合

本製品に接続されたハードディスクのフォーマットについて説明します。
通常この操作は必要ありません。どうしても必要になった場合のみ行ってください。

ディスクの署名

Windows 2000でハードディスクを使用するには、ディスクに署名を行う必要があります。

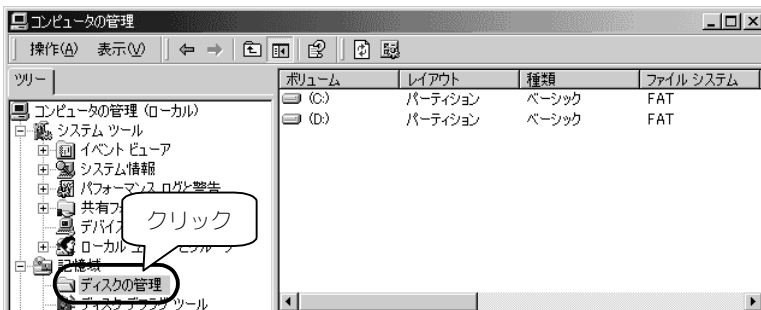
1 「コンピュータの管理」を起動します。

[マイコンピュータ] を右クリックし、メニュー内の「管理」をクリックします。

2 [ディスクの管理]をクリックします。

[記憶域] → [ディスクの管理] をクリックします。

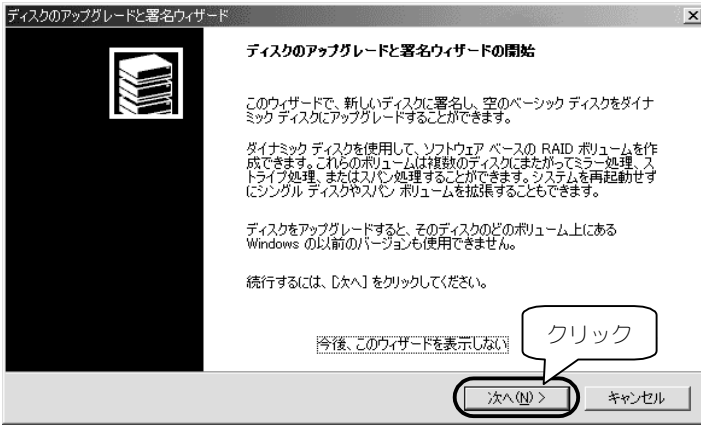
⇒[ディスクのアップグレードと署名ウィザード]が表示されます。



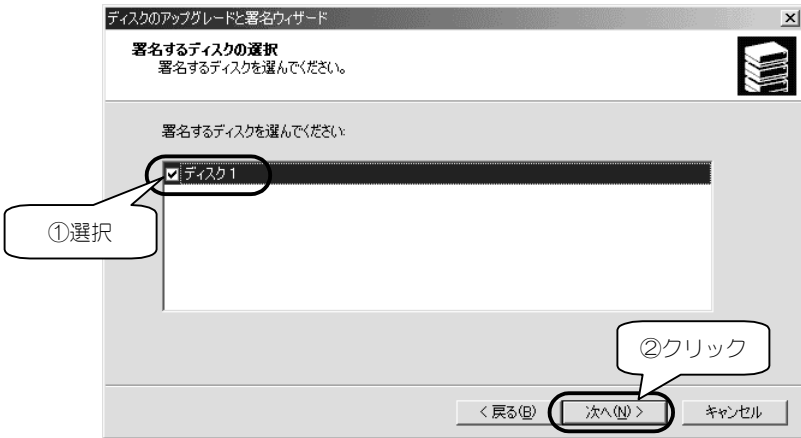
[ディスクのアップグレードと署名ウィザード]が表示されない

- ①本製品とハードディスクが正しく接続されていません。
【本製品とSCSI機器を接続する】(6ページ)をもう一度ご覧ください。
- ②表示されない設定になっています。
ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示された「署名」をクリックしてください。
- ③ハードディスクは署名されています。
【パーティションの作成とフォーマット】(70ページ)へお進みください。

3 [次へ]ボタンをクリックします。



4 署名するディスクを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

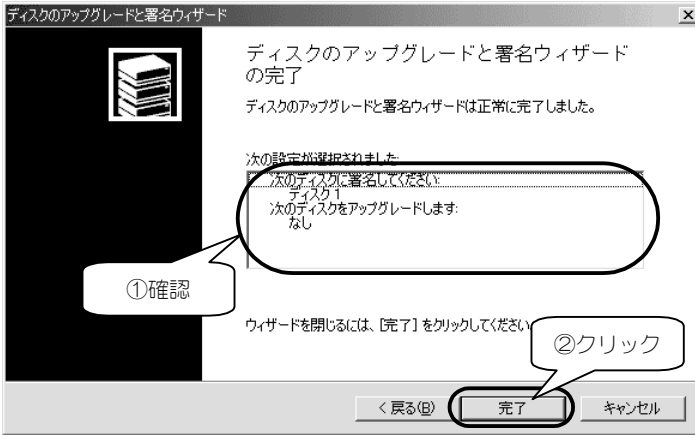


署名を行わないと、ハードディスクは使用できません。
必ず署名を行ってください。

5 設定を確認して、[完了]ボタンをクリックします。

選択した設定が正しいことを確認して [完了] ボタンをクリックします。

⇒署名が行われます。



次ページの【パーティションの作成とフォーマット】にお進みください。

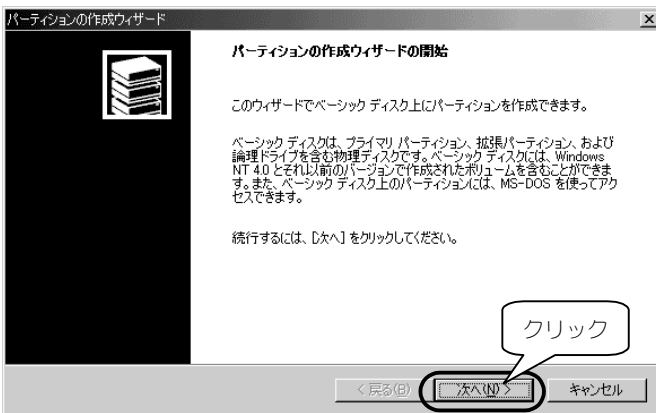
パーティションの作成とフォーマット

1 「パーティションの作成ウィザード」を起動します。

フォーマットしたいハードディスクの未割り当ての領域を右クリックし、表示された [パーティションの作成] をクリックします。
⇒[パーティションの作成ウィザード]が起動します。



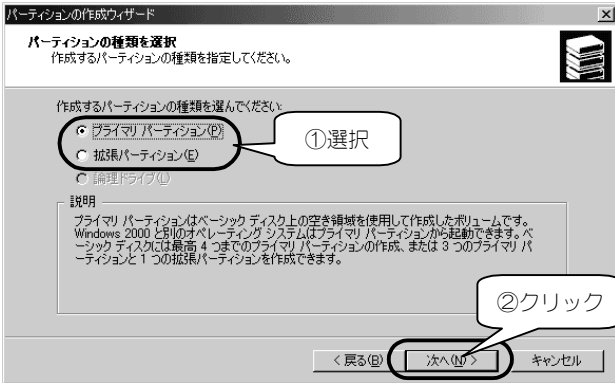
2 [次へ]ボタンをクリックします。



3 作成する種類を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

作成するパーティションの種類を選択します。

パーティションについては画面内に表示されている説明をご覧ください。その後、[次へ]ボタンをクリックします。



どちらを選択したらよいか分からない場合は...

[プライマリパーティション] を選択してください。

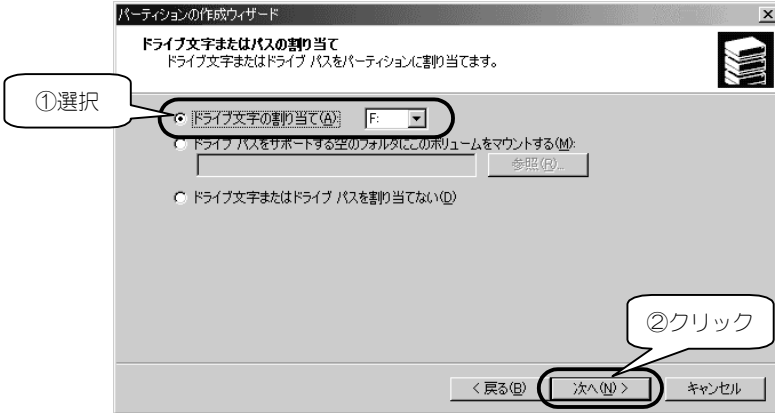
4 使用する容量を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

この後、プライマリパーティションを作成した場合は手順5へ、拡張パーティションを作成した場合は手順9へ進みます。



5 ドライブ文字を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

[ドライブ文字の割り当て] を選択します。
その後、 [次へ] ボタンをクリックします。



ドライブ文字について

[ドライブ文字の割り当て] の右にあるアルファベットが、作成するパーティションのドライブ文字になります。通常、変更する必要はありません。

他の選択について

[ドライブパスをサポートする空のフォルダにこのボリュームをマウントする] を選択することもできます。詳細は、Windowsの取扱説明書かオンラインヘルプをご覧ください。

6 フォーマットするように指定します。

[このパーティションを以下の設定でフォーマットする] を選択します。

7 ファイルシステムの設定を行います。

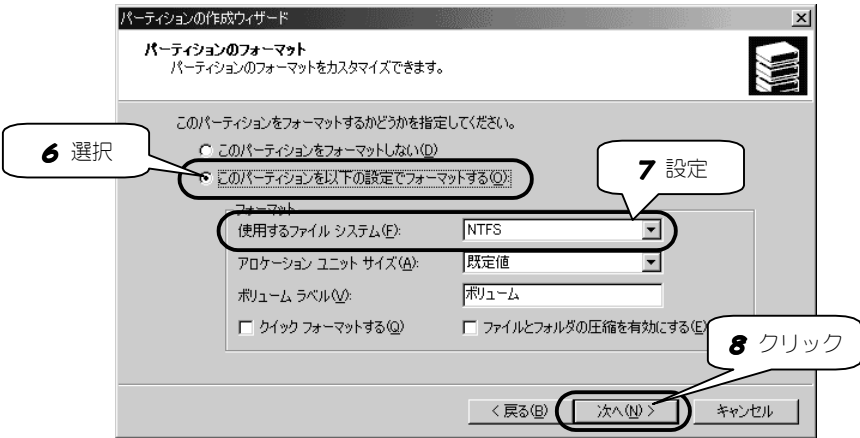
フォーマットの中の「使用するファイルシステム」項目を設定します。項目の詳細については、Windowsの取扱説明書もしくはオンラインヘルプをご覧ください。



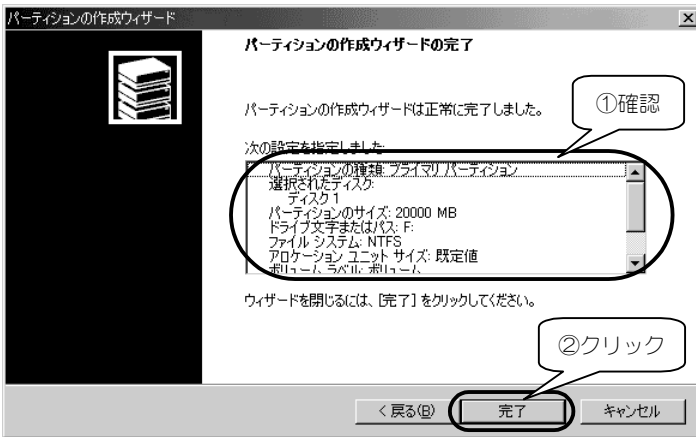
ファイルシステムについて

ファイルシステムがよく分からない場合は、[NTFS] に設定してください。また、設定するファイルシステムの制限にご注意ください。

8 [次へ]ボタンをクリックします。



9 設定を確認して、[完了]ボタンをクリックします。

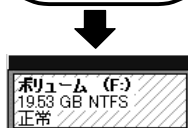
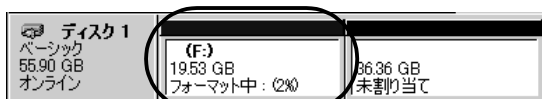


●プライマリパーティションを作成した場合

プライマリパーティションのフォーマットを開始します。

フォーマットには、容量に応じた時間がかかります。

フォーマットが終わると、「マイコンピュータ」にハードディスクのアイコンが表示されます。



「未割り当て」の領域が余っている場合は…

本作業手順をもう一度行ってください。

作成したパーティションの次回からのフォーマットについて

ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示された【フォーマット】をクリックします。

●拡張パーティションを作成した場合

拡張パーティションは、その中に「論理ドライブ」を作る必要があります。

次ページの【論理ドライブの作成】をご覧ください。

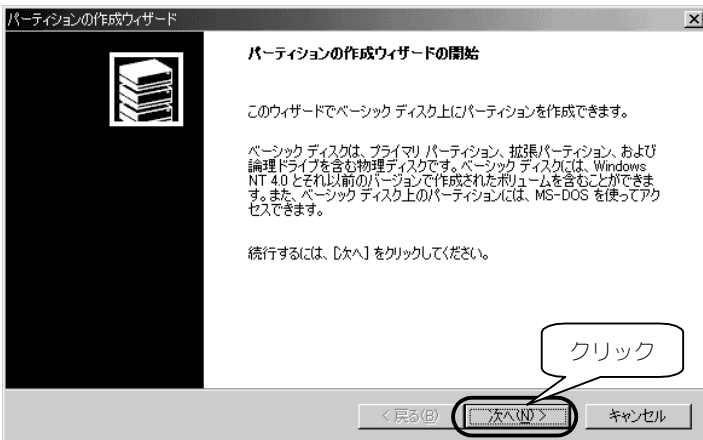
論理ドライブの作成

1 「空き領域」に論理ドライブを作成します。

論理ドライブを作成する拡張領域の「空き領域」を右クリックし、表示された「論理ドライブの作成」をクリックします。

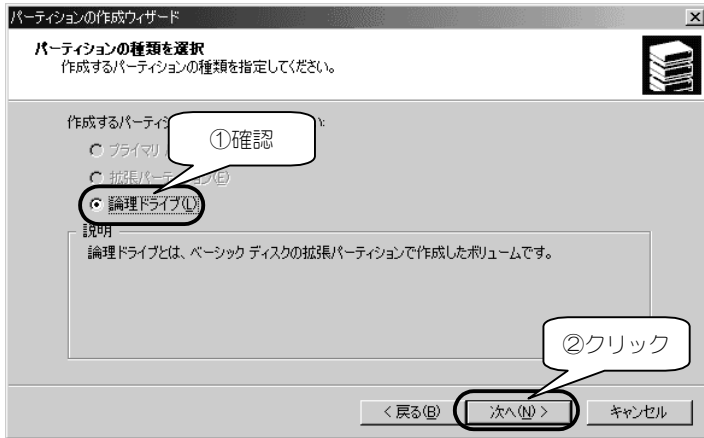


2 [次へ]ボタンをクリックします。

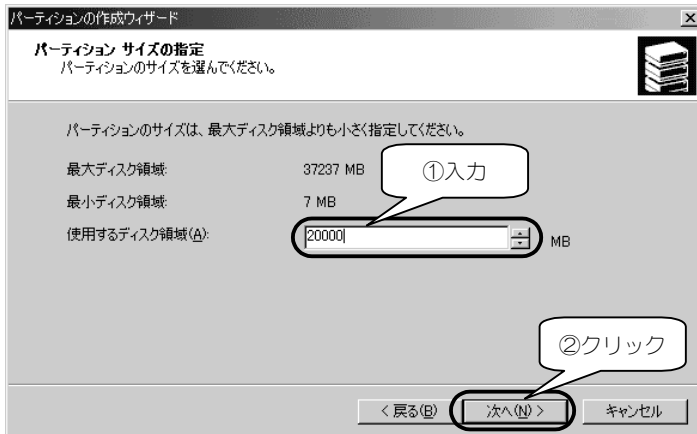


3 [次へ]ボタンをクリックします。

このとき、[論理ドライブ] が選択されていることを確認してください。

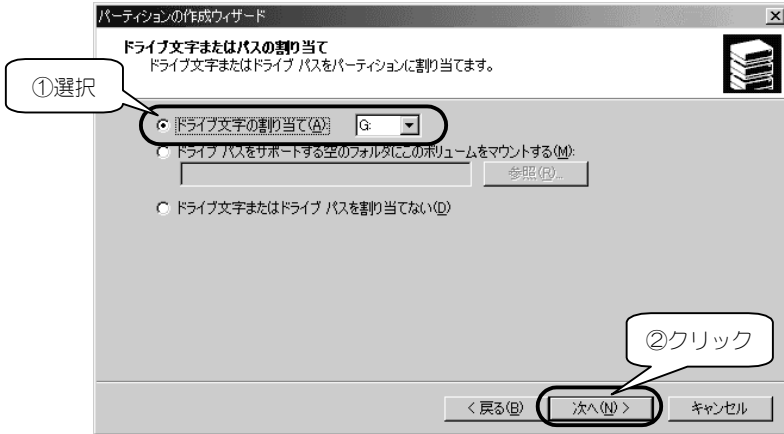


4 使用する容量を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



5 ドライブ文字を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

[ドライブ文字の割り当て] を選択し、 [次へ] ボタンをクリックします。



ドライブ文字について

[ドライブ文字の割り当て] の右にあるアルファベットが、作成するパーティションのドライブ文字になります。通常、変更する必要はありません。

他の選択について

[ドライブパスをサポートする空のフォルダにこのボリュームをマウントする] を選択することもできます。詳細は、Windowsの取扱説明書かオンラインヘルプをご覧ください。

6 フォーマットするように指定します。

[このパーティションを以下の設定でフォーマットする] を選択します。

7 ファイルシステムの設定を行います。

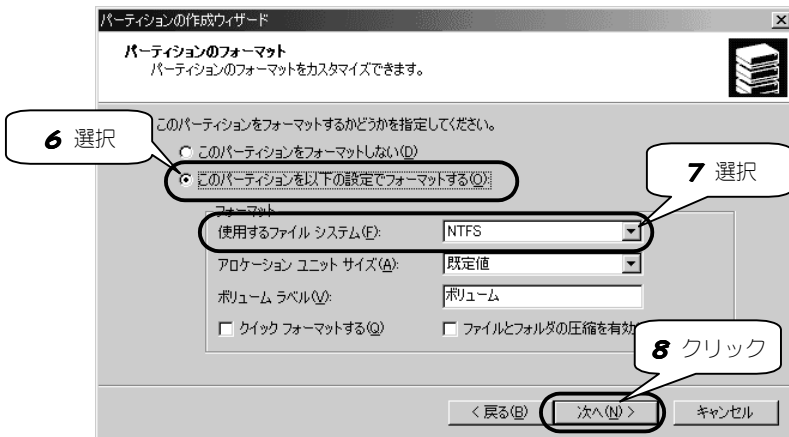
フォーマットの中の「使用するファイルシステム」項目を設定します。項目の詳細については、Windows 2000の取扱説明書もしくはオンラインヘルプをご覧ください。



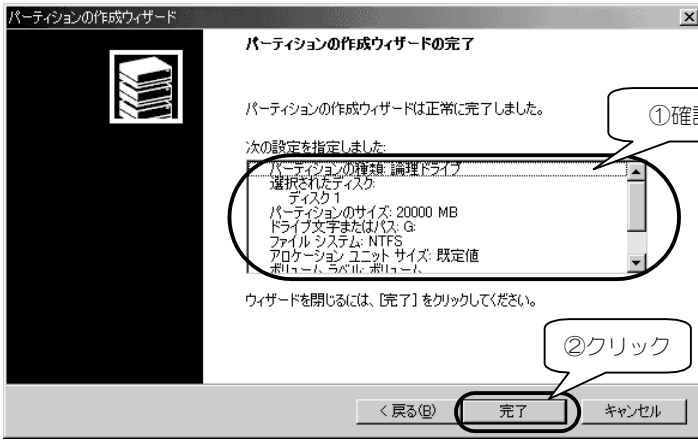
ファイルシステムについて

ファイルシステムがよく分からない場合は、[NTFS] に設定してください。また、設定するファイルシステムの制限にご注意ください。

8 [次へ]ボタンをクリックします。



9 設定内容を確認して[完了]ボタンをクリックします。

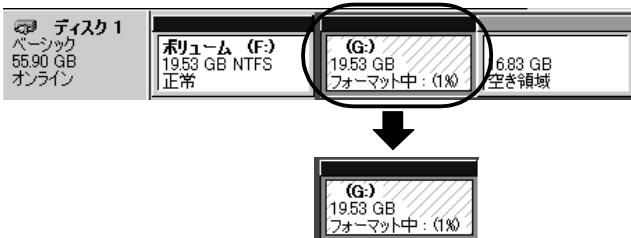


10 フォーマットするように指定します。

論理ドライブのフォーマットを開始します。

フォーマットには、容量に応じた時間がかかります。

フォーマットが終わると、「マイコンピュータ」にハードディスクのアイコンが表示されます。



参考

「空き領域」が余っている場合は・・・

本作業手順をもう一度行ってください。

作成したドライブの次回からのフォーマットについて

ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示された [フォーマット] をクリックします。

Windows Me/98の場合

本製品に接続されたハードディスクのフォーマットについて説明します。
通常この操作は必要ありません。どうしても必要になった場合のみ行ってください。



フォーマットすると、データはすべて消去されます

ハードディスク内に必要なデータがある場合は、先に、別のハードディスクなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

下で説明するASPIFORMを使ってください

「マイコンピュータ」内のアイコンを右クリックして行うフォーマットおよびFDISK、FORMATコマンドでは、正常にフォーマットできません。

ASPIFORMでフォーマットしよう



パーティションコンバートツールを使わないでください

ASPIFORMで作成したFAT16のパーティションをFAT16→FAT32コンバートツール(Windows Me/98のFAT32コンバータなど)を使ってFAT32に変更しないでください。

FAT32のパーティションをお使いになりたい場合は、ASPIFORMを使用して、FAT16のパーティションを削除し、FAT32でパーティションを作成しなおしてください。

(ただし、削除したパーティションのデータはすべて失われます。
削除する前に必要なデータをバックアップすることをおすすめします。)

フォーマットしたくない機器はできるだけ取り外してください

誤ってフォーマットしてしまわないために、できるだけ取り外してください。



ASPIFORMとは？

ASPIFORMはWindows Me/98用フォーマットソフトです。
ハードディスクをフォーマットすることができます。

パーティションは、最大5つまで作成できます

ASPIFORMで作成可能なパーティション数(区画領域数)は、最大5つです。

マウスでの操作はできません

矢印キー([↓][↑][→][←]キー)にて選択(カーソル移動)してください。

1 「USB2-SCサポートソフト」を挿入します。

「USB2-SCサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

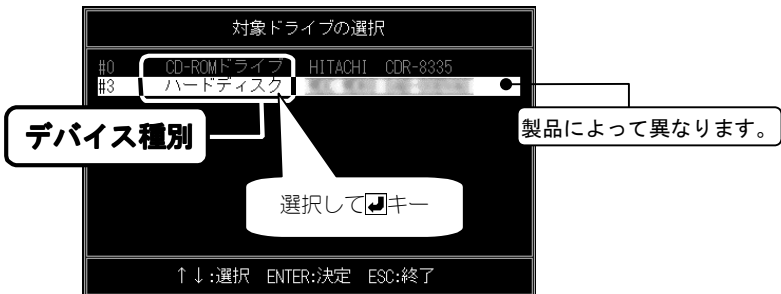
2 [ASPIFORM]アイコンをダブルクリックします。

[マイコンピュータ] → [HDA_US2_xxx] → [HDD] → [ASPIFORM]の順にダブルクリックします。

順にダブルクリック



3 フォーマットしたいハードディスクを選択し、キーを押します。



「対象ドライブが見つかりません」と表示された

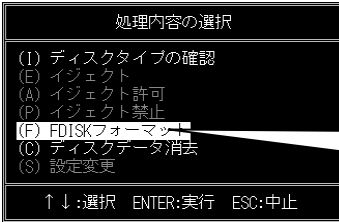
【ASPIFORMで「対象ドライブが見つかりません」と表示される】(96ページ)をご覧ください。



他の外付ハードディスクも表示されます

それらを誤ってフォーマットしないようご注意ください。
内蔵CD-ROMドライブなどが表示されることがあります
ただし、それを選択することはできません。ご安心ください。

4 「(F) FDISKフォーマット」を選択し、**[Enter]**キーを押します。



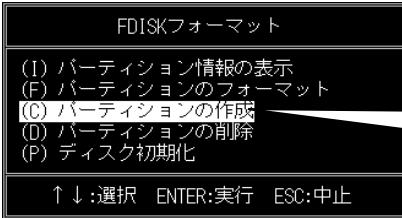
カーソルを移動して**[Enter]**キーを押す



各項目の詳細について

詳しくは、【ASPIFORMの処理内容について】(86ページ)を参照してください。

5 「(C)パーティションの作成」を選択し、**[Enter]**キーを押します。



カーソルを移動して**[Enter]**キーを押す



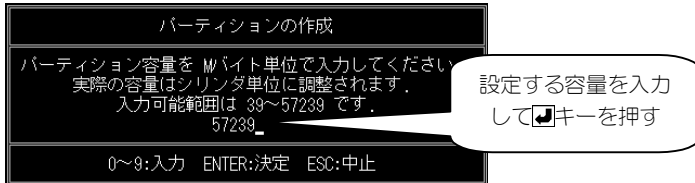
「使用領域が不足しています」と表示された

【ASPIFORMで「使用可能領域が不足しています」と表示される】(96ページ)をご覧ください。

6 パーティションの容量を入力し、**[Enter]**キーを押します。

最初、設定できる最大容量が表示されます。最大容量のまま設定する場合は、そのまま**[Enter]**キーを押します。

設定したい容量を入力する場合は、**[BackSpace]**キーで表示されている容量を削除した後、設定したい容量を入力してください。

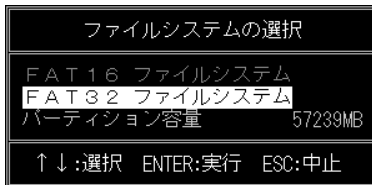


7 容量を確認し、「実行」を選択して、**[Enter]**キーを押します。



8 ファイルシステムを選択します。

⇒フォーマットが開始されます。

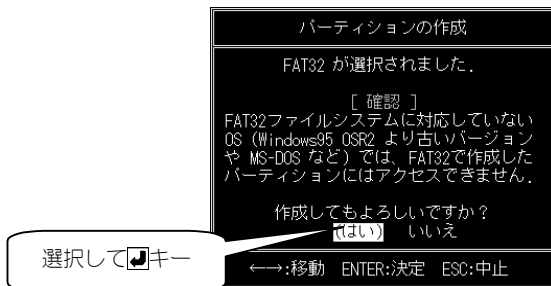


ファイルシステムについて

手順6で指定した容量によっては、片方のみ選択可能となる場合があります。本製品を他のOSと併用したい場合に[FAT32ファイルシステム]を選択すると、OSによっては、併用できなくなります。

9 「FAT32 ファイルシステム」の場合、以下が表示されます。

画面上のメッセージを確認し、作成しても良いなら「はい」を選択し、**[Y]**キーを押します。



10 下のように表示されたら、**[Y]**キーを押します。

フォーマットが完了しました。ENTERキーを押して下さい。

11 ハードディスクの容量が残っている場合は、繰り返します。

ハードディスクの容量が残っている場合は、さらにパーティションを作成できます。手順5からの作業を繰り返し行い、残りの容量を確保してください。

12 [ESC]キーを「4回」押し、ASPIFORMを終了します。

13 ウィンドウが消えない場合は、**[X]** ボタンをクリックします。

14 「USB2-SCサポートソフト」を取り出します。

15 パソコンを再起動してください。

以上でフォーマットは終了です。

⇒「マイコンピュータ」にハードディスクのアイコンが表示されます。



参考

作成したドライブの次回からのフォーマットについて

ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示された【フォーマット】をクリックします。

ASPIFORMの処理内容について

I ディスクタイプの確認

対象のディスクが、どのフォーマット形式に従ってフォーマットされているかを判別します。

E イジェクト

USBコンバータケーブルでは使用できません。

A イジェクト許可

USBコンバータケーブルでは使用できません。

P イジェクト禁止

USBコンバータケーブルでは使用できません。

F FDISKフォーマット

パーティション状態の表示

パーティションの状態を表示します。

パーティションのフォーマット

パーティションを選択後、論理フォーマットします。「パーティションの作成」後には必要ありません。

パーティションの作成

パーティションを作成し、論理フォーマットする。(必ずこの作業をしてください)

パーティションの削除

末尾のパーティションを削除します。

ディスク初期化

USBコンバータケーブルでは使用しないでください。

「ディスクデータ消去」の「完全データ消去」で初期化の代わりになります。
詳しくは、下をご覧ください。

C ディスクデータ消去

簡易データ消去

データ管理情報部分のみを消去します。

完全データ消去

ディスク上のすべての情報を消去します。この作業には大変時間がかかります。(USB 2.0でお使いの場合、20Gバイトで約2.5時間
USB (1.1)でお使いの場合、20Gバイトで約7時間)

S 設定変更

ライトキャッシュの設定をします。初期設定は「OFF」です。

ふろく

困った時には

..... 88

トラブルの解決にお役立てください。

サポートソフトの削除

..... 97

インストールした情報を削除します。

用語解説

..... 98

仕様

..... 99

本製品の仕様一覧です。

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

共通のトラブル

接続したドライブのアイコンが表示されない	8 9
本製品に接続されているSCSI機器を読み書きしていると他のUSB機器が認識しない	
本製品に接続されているSCSI機器からOSを起動できない	9 0
スタンバイから戻ると、本製品に接続されているSCSI機器が認識されていない	
USBハブに本製品を接続しているとエラーが発生する	
本製品を接続した状態でパソコンを起動すると本製品のアイコンが2つ表示される	
本製品を接続した状態でパソコンを起動すると、起動の途中でパソコンが動かなくなる	

Windows XPでのトラブル

インストール時に「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない	9 1
USBポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される	

Windows 2000でのトラブル

インストール時に「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない	9 2
本製品を使えるように(または削除)する途中でエラー画面が表示される	
USBポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される	9 3

Windows Me/98でのトラブル

インストール時に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない	9 5
本製品を使えるように(または削除)する途中でエラー画面が表示される	
・本製品を接続すると、パソコンが止まる	9 6
・本製品を接続してパソコンを起動するとSafeモードになる	
USBポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される	
ASPIFORMで「対象ドライブが見つかりません」と表示される	
ASPIFORMで「使用可能領域が不足しています」と表示される	

共通のトラブル

接続したドライブのアイコンが表示されない

原因1 「更新」されていない

[マイコンピュータ] の [表示] → [最新の情報に更新] をクリックしてください。

原因2 ドライブ側の設定が正しくない

接続しているドライブの取扱説明書をご覧ください。

原因3 接続するUSBポートによっては認識されない

接続するUSBポートを変えてください。特にUSBハブに接続している場合は、パソコンのUSBポートに変えてみてください。

原因4 正常に認識されていない

【確認しよう】(14、29、39、52ページ)をご覧ください、正常認識されているか確認してください。

原因4 他のUSB機器にバスを占有されている

(弊社製USB-GCDでキャプチャしているなど)

この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、本製品をUSBポートに接続してください。

本製品に接続されているSCSI機器を読み書きしていると他のUSB機器が認識しない

原因 本製品がバスを占有している

この場合すぐには、認識されません。本製品の占有が終わってから、USB機器をUSBポートに接続してください。

困った時には

本製品に接続されているSCSI機器からOSを起動できない

原因 本製品からのOSの起動には対応していない

本製品からOSを起動することはできません。

スタンバイから戻ると、本製品に接続されているSCSI機器が認識されていない

原因 環境によっては正常にスタンバイから復帰できない

本製品を一度取り外し、また接続してください。

USBハブに本製品を接続しているとエラーが発生する

原因 USBハブによっては本製品が正常に動作しない

USBハブから本製品を取り外し、パソコンのUSBポートに接続してください。

本製品を接続した状態でパソコンを起動すると本製品のアイコンが2つ表示される

原因 パソコンがUSB機器からの起動に対応している

USB機器から起動できないように、パソコンを設定してください。
詳しい方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
パソコンメーカーにお問い合わせください。

本製品を接続した状態でパソコンを起動すると、起動の途中でパソコンが動かなくなる

原因 パソコンがUSB機器からの起動に対応している

本製品を接続したままでは起動できません。
本製品を取り外してから、パソコンを起動してください。
パソコンが起動し終わったら、本製品を接続してください。

Windows XPでのトラブル

インストール時に「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない

原因 接続が正しくない

USBケーブルがしっかりと挿しこまれているか確認してください。また、接続しているSCSI機器の電源が入っていることを確認してください。

USBポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される

原因 取り外しの正しい手順を行っていない

【本製品を取り外す】(19ページ)をご覧ください。

Windows 2000でのトラブル

インストール時に「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない

原因 接続が正しくない

USBケーブルがしっかりと挿しこまれているか確認してください。また、接続しているSCSI機器の電源が入っていることを確認してください。

本製品を使えるように(または削除)する途中でエラー画面が表示される

原因 USB機器を接続している

USB機器を接続したままで、本製品を使えるように(または削除)できません。下記の手順を行ってください。

1 [OK]ボタンをクリックします。

⇒エラー画面が閉じます。



参考

USBのCD-ROMドライブをお使いの方へ

この手順では、作業できません。

【サポートソフトのコピー方法】(94ページ)の手順を行ってください。

2 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

本製品を含む全てのUSB機器(キーボード、マウスを除く)を取り外します。

3 もう一度、作業を行います。

【インストール】(22ページ)か、【サポートソフトの削除】(97ページ)の手順を行ってください。

USBポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される

原因 取り外しの正しい手順を行っていない

【本製品を取り外す】(33ページ)をご覧ください。

困った時には

サポートソフトのコピー方法

この作業は、本製品を使えるように(または削除)する途中でエラー画面が表示される問題が起きた場合で、USBのCD-ROMドライブをお使いの場合の解決方法です。

- 1 「USB2-SCサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。**
- 2 [新しいフォルダ]を作ります。**
デスクトップを右クリックし、表示されたメニューの [新規作成] → 「フォルダ」の順にクリックします。
⇒デスクトップ上に [新しいフォルダ] フォルダが作られます。
- 3 データを作ったフォルダにコピーします。**
「USB2-SCサポートソフト」内のデータを、[新しいフォルダ] フォルダにコピーします。



コピー方法

- ① [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックします。
- ② CD-ROMアイコンをダブルクリックします。
- ③ メニューから [編集] → [すべて選択] をクリックします。
- ④ メニューから [編集] → [コピー] をクリックします。
- ⑤ [新しいフォルダ] フォルダをダブルクリックします。
- ⑥ メニューから [編集] → [貼り付け] をクリックします。
⇒ 「USB2-SCサポートソフト」の内容がコピーされます。

- 4 「USB2-SCサポートソフト」を取り出します。**
- 5 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。**
本製品を含む全てのUSB機器(キーボード、マウスを除く)を取り外します。
- 6 もう一度、作業を行います。**
【インストール】(22ページ)か、【サポートソフトの削除】(97ページ)の手順を行ってください。

Windows Me/98でのトラブル

インストール時に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない

原因 接続が正しくない

USBケーブルがしっかりと挿しこまれているか確認してください。また、接続しているSCSI機器の電源が入っていることを確認してください。

本製品を使えるように(または削除)する途中でエラー画面が表示される

原因 USB機器を接続している

USB機器を接続したままで、本製品を使えるように(または削除)できません。

下記の手順を行ってください。

1 [OK]ボタンをクリックします。

⇒エラー画面が閉じます。



参考

USBのCD-ROMドライブをお使いの方へ

この手順では、作業できません。

【サポートソフトのコピー方法】(前ページ)の手順を行ってください。

2 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

本製品を含む全てのUSB機器(キーボード、マウスを除く)を取り外します。

3 もう一度、作業を行います。

【インストール】(36、46ページ)か、【サポートソフトの削除】(97ページ)の手順を行ってください。

困った時には

- ・本製品を接続すると、パソコンが止まる
- ・本製品を接続してパソコンを起動するとSafeモードになる

原因 本製品の接続や電源が正常ではない

【本製品とSCSI機器を接続する】(6ページ)をご覧ください、接続と電源を確認してください。

USBポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される

原因 取り外しの正しい手順を行っていない


【本製品を取り外す】(43、56ページ)をご覧ください。

ASPIFORMで「対象ドライブが見つかりません」と表示される

原因 本製品の接続や電源が正常ではない

1 ASPIFORMを終了します。

[ESC] キーを数回押し、ASPIFORMを終了します。

ウィンドウが残る場合は、 ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

2 接続と電源を確認します。

【本製品とSCSI機器を接続する】(6ページ)をご覧ください、接続と電源を確認します。

ASPIFORMで「使用可能領域が不足しています」と表示される

原因 すでにパーティションは作成されている

フォーマットの必要はありません。そのままお使いください。
パーティションを作り直したい場合は、必要なデータをバックアップした後で、【ASPIFORMの処理内容について】(86ページ)をご覧ください、「簡易データ消去」を行い、

【Windows Me/98の場合】(80ページ)の手順を最初から行ってください。

サポートソフトの削除

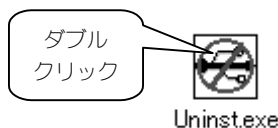
サポートソフトの削除方法について説明します。

1 本製品をUSBポートから取り外します。

【本製品を取り外す】(19、33、43、56ページ)を参照してください。

2 「USB2-SCサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

3 「USB2-SCサポートソフト」内の[Uninst.exe]をダブルクリックします。



後は、画面の指示に従ってください。

用語解説




USB (Universal Serial Bus) [ユーエスピー]

パソコンと周辺機器を接続する規格の1つ。

「USB 1.1」と「USB 2.0」の2つのバージョンがある。

特長として、接続のしやすさ、増設のしやすさなどがあげられる。

最大転送速度（理論値）

USB 2.0		480Mbps
IEEE 1394		400Mbps
USB 1.1		12Mbps

フォーマット

ストレージ製品を使えるようにするために必要な作業。

他に、イニシャライズや初期化などと呼ぶこともある。

仕様

電源電圧	DC 5V (SCSIターミネータから供給)
消費電流	720mA (MAX)
動作温度	5°C~35°C
動作湿度	20~80%
外形寸法	50 (W) ×42 (L) ×12.5 (H) mm
質量	約35g

● SCSIインターフェイス側

対応規格	SCSI		
転送方式	Ultra SCSI		
接続台数	1台、2台	3台	4台
転送速度	20MB/S 同期転送	10MB/S 同期転送	5MB/S 非同期転送
ケーブル長	1.5m (MAX)		

● USBインターフェイス側

対応規格	USB 2.0	USB 1.0、1.1
転送方式	Bulk転送	
転送速度 (接続先HOST)	480Mbps	12Mbps
ケーブル長	5m (MAX)	

※ 「転送速度」は理論値です。

接続している機器のうち、最も遅い機器に合わせます。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット <http://www.iodata.co.jp/support/>

■郵便

住所 〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「USB2-SC」係 宛

■電話

電話番号 本社 076-260-3367
東京 03-3254-0340
受付時間 9:30~19:00
月~金曜日(祝祭日を除く)

■FAX

FAX番号 本社 076-260-3360
東京 03-3254-9055
宛先 株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「USB2-SC」係 宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

インターネット <http://www.iodata.jp/lib/>

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

例 <http://www.iodata.jp/>

ご注意

- オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
- 添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
- このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやサービス窓口ではお受けできません。

保証について

◎ 保証期間

- ・保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。（添付のハードウェアシリアルNo. シールを必ずお貼りください。）
- ・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

◎ 保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- ・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- ・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認のうえ、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願いいたします。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
 - ◇保証書がない場合
 - ◇保証書の所定事項が未記入の場合
 - ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
 - ◇落雷などの事故による破損の場合
 - ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実施を行います。
- 修理品送付先

住所 〒920-8513

石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「USB2-SC」修理係 宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

受付窓口 「USB2-SC」 サービス窓口

電話番号 本社 076-260-3663

受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。

USB2-SC 取扱説明書

2001. Nov. 2 98703-01

発行 株式会社アイ・オー・データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.

本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。